

教科書に掲載されている実験手順に加え、
結果や考察の記入欄を設けていますので、
このレポート1つで実験を行うことができます

観察① 真核細胞と原核細胞の観察

(▶教p.34)

I 真核細胞の観察

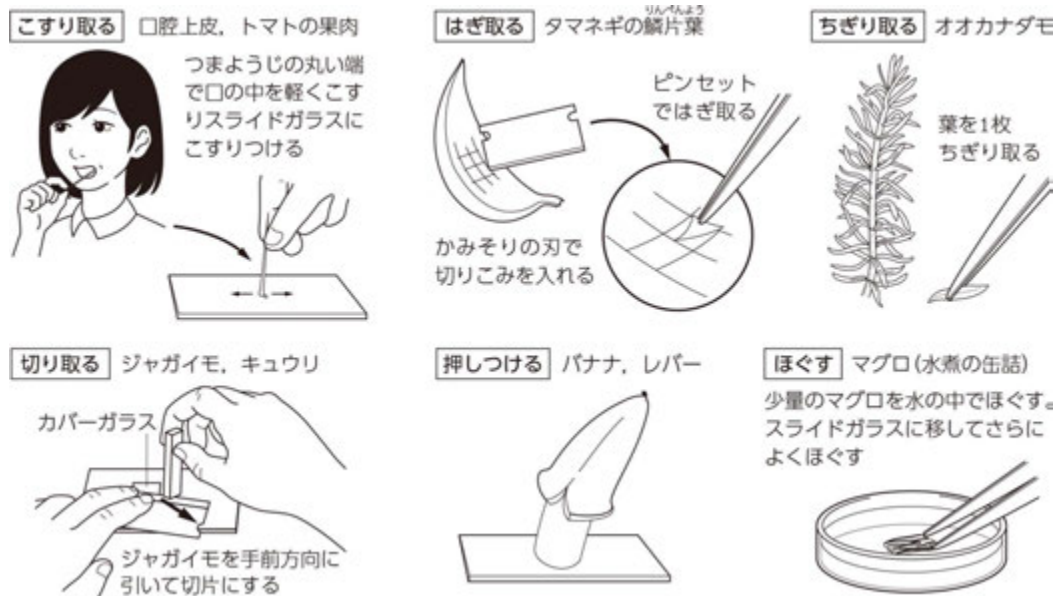
目的 顕微鏡で真核細胞を観察し、その特徴を知る。

準備 □さまざまな観察材料（ヒトの口腔上皮，ニワトリの肝臓（レバー），マグロ（水煮の缶詰），タマネギ，オオカナダモ，ジャガイモ，キュウリ，トマト，バナナなど），
□検鏡器具，□接眼マイクロメーター（あらかじめ1目盛りの長さを求めておいたもの），
□かみそりの刃，□つまようじ，□ペトリ皿，□酢酸オルセイン液，□ヨウ素液

方法 ① 下図のような方法によって観察材料を準備する。

② 材料をスライドガラスにのせ、水を1滴落とした後、カバーガラスをかけてプレパラートを作製し、検鏡する。細胞のスケッチや大きさの測定も行う。

③ 水のかわりに酢酸オルセイン液やヨウ素液を用いてプレパラートを作製し、無染色のときとの違いを調べる。



結果 観察したそれぞれの材料をスケッチしよう。

材料 染色液 倍率	材料 染色液 倍率
材料 染色液 倍率	材料 染色液 倍率
材料 染色液 倍率	材料 染色液 倍率

材料 _____ 染色液 _____ 倍率 _____	材料 _____ 染色液 _____ 倍率 _____
材料 _____ 染色液 _____ 倍率 _____	材料 _____ 染色液 _____ 倍率 _____
材料 _____ 染色液 _____ 倍率 _____	材料 _____ 染色液 _____ 倍率 _____

*倍率は「接眼レンズの倍率×対物レンズの倍率」で記入する。

*接眼マイクロメーターを利用して、教科書p.34にあるようなスケールも描きこんでみよう。

*輪郭は1本の線でしっかり描く。細胞壁など幅のあるものは1本の線ではなく、輪郭を正確に描く（2本の線で描かれることになる）。